



1月12日、文化会館で、「成人のつどい」が開催されました。新成人たちは、旧友との再会に晴れやかな笑顔でした

地上デジタル放送へ円滑に移行するための対応は

公明党 松澤 堅二

問 地上デジタル放送の完全移行まで、2年9カ月を切った。総務省は、地上デジタル放送推進総合対策をまとめ、生活保護世帯への簡易チューナー配布、高齢者や障害者への受信説明会の開催などが盛り込まれた。円滑な移行には、しっかりとした対応が重要だが、本市の取り組みは。説明会に來られない高齢者などへの周知はどうするのか。テレビジョン共同受信施設もデジタル化の改修がされるが、現状と改修後の加入世帯への説明は。国の政策に乗じた詐欺やアナログテレビの大量廃棄の問題もあるが、どう対応するのか。

答 デジタル化への移行に向け、広報、ホームページへの最新情報の掲載や、パンフレットの配布などで、市民に周知徹底を図る。また、国は、独居老人への訪問説明などを行うとしており、連携していく。共同受信施設は、2年で全施設を改修する予定で、加入世帯へは、回覧や説明会で周知していく。詐欺問題は、国も悪質商法の対策を講じる予定で、市も広報などを通じて注意喚起していく。テレビの廃棄問題は、環境省で状況調査の経費が計上されており、国の対応を見守っていく。(ほかに「市民協働の今後の取り組みについて」「環境政策について」を質問)

世界同時不況が税収入へ及ぼす影響とその対策は

新綾クラブ 近藤 洋

問 米国発の金融恐慌が日本にも波及し、金融市場の混乱を招いている。世界同時不況、株暴落、円急騰、倒産急増などが日本経済を襲い、個人消費も冷え込ませている。本市の主要産業である自動車関連企業や電子部品企業なども、大変な試練に立たされているが、来年度の市民税や法人税などの見込みはどの程度か。落ち込みが激しい場合、どう対処するのか。また、来年度の新規事業はどうするのか。税収を増やし維持するためにも、不況企業へどのような取り組みを考えているか。解雇などの影響を受ける市民がいると思うが、

そのときの対応を考えているか。答 市内企業も景気の影響を大きく受ける中、来年度の市税収入は、平成20年度当初予算と比べ15〜20%程度の減収になると想定している。予算編成では節減合理化を徹底するとともに、歳入確保策として、市税収納率の向上や特定財源の確保に努める。新規事業は、真に必要であるか精査し、最終的には基金の取り崩しも視野に入れ検討していく。中小企業には、融資制度の啓発や支払利息、信用保証料の一部補助を行う。解雇された市民には、ハローワークとの連携による求職活動や就労相談、県が実施している応急生活対策資金の啓発などの支援をしていく。

農業が若い世代に希望を持てる業種とする対策は

市民会議21 比留川政彦

問 農業を取り巻く環境は、年々厳しさを増している。農業従事者の高齢化や後継者不足は、一向に歯止めがかからず、遊休農地の増加も深刻である。このような中、食料自給率の向上、温暖化防止の側面から農業の重要性が再認識され、若い世代に希望の持てる業種として育成することが求められている。援農ボランティアの育成など、本市の農業振興策の現状はどうなっているか。また、親子ふれあい農業体験事業は、子どもの農業への理解を深め、意義深いものとするが、その内容や実施状況はどうなっているか。

答 高齢化や後継者不足の問題解決に向け、農地の利用集積や集団営農など、安心して農業に従事できる環境づくりの事業を展開している。今年度は、農産物の直売や農業見学会など、市民が幅広く農業に接する機会を提供し好評だった。援農ボランティアは農繁期の労働力不足解消を目的に、現在6人の方が実習生として農業技術を習得している。親子ふれあい農業体験事業は年間を通じて農業を体験し、理解を深めることを目的としており、親子22組がニンジンや大根などの作付けや収穫を行い、保育園や福祉施設に配布した。(ほかに「中村地区資源物分別回収モデル事業の成果について」を質問)

早川城山地区の通学路への安全対策と今後のあり方は

公明党 出口けい子

問 早川城山地区では、住宅建設が進むにつれ子どもが増加するのは明らかで、早急な安全対策が必要である。現在2つの通学路があるが、どのような安全対策がとられているか。まもなく早川城山地区の児童だけで400人になると言われている。安全のための新たな通学路として、

城山公園西側の階段を整備拡幅し、見通しを良くするよう改善しないか。また、海老名市で設置予定の「まちかど防犯通報システム」を導入する考えはないか。安心して通学するためには、学区再編も方法のひとつと思うが、検討状況はどうか。答 通学路には、路側帯のカラー化などの安全対策を行っている。また、天神森隧道の階段は、スリップ止めの取り付けなどを行っている。城山公園は、極力既存の樹木を残すように作っており、伐採の予定はない。しかし、西側園路が通学路になれば、改修や伐採などを検討する。また、「まちかど防犯通報システム」は、維持費や管理の問題もあるので、海老名市の運用状況などを見極めた。学区再編は、検討委員会で議論している。重要な課題であり、想定より時間がかかっているが、力を入れて進める。(ほかに「国の『総合経済対策』と本市の対応について」を質問)

道路反射鏡の設置基準と管理は怎么样了

公明党 井上 賢二

問 平成19年中に全国で起きた交通事故件数は83万件以上で、中でも特に多いのが、信号機のない交差点で起こる出会い頭での事故である。道路反射鏡はこのような事故の防止に役立つもので、本市はどこよりも交通事故防止に力を入れており、市民の要望に耳を傾け、積極的に取り組んでいるが、設置基準や管理はどうなっているか。また、車両などの接触により破損した道路反射鏡を市民が発見した場合、すぐに連絡できるように、管理番号などを記したシールをつけられ、すぐに対処できるのではないかと。

答 反射鏡の設置基準は道路の曲線部、市道と市道の交差点、市道と県道の交差点のうち、見通しが悪く、危険な箇所に設置している。また、私道と公道の交差点も基準を見直し、市道と同様に設置可能とした。管理方法は、設置場所を記載した台帳で職員がパトロールを行っているが、随時状況把握が必要であり、市民などからの情報提供が役立つ。管理シールは、情報提供しやすい環境づくりが適切な補修や機能維持につながるため、今後はシールの表示内容の改善を図りながら、適切に維持し、交通事故防止に努めていく。(ほかに「新型インフルエンザについて」「人間ドックについて」を質問)

一般質問の方法

本市議会の一般質問は、通告の際に質問の方法(一括または一問一答)を選択し、議員個人が行う方式となっています。

【一括方式】第1回目の質問は通告した質問の全てをまとめて行い、再質問は必要なものをまとめて行う方式。再質問の回数は2回までとし、質問時間は50分以内。

【一問一答方式】第1回目の質問は通告した質問の全てをまとめて行い、再質問は1問ごとに行う方式。50分の時間制限内であれば再質問の回数は無制限。

詳しい内容は会議録で

市議会報は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。市ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/ayase/ayase.html> からご利用ください。

12月定例会の会議録は、2月下旬に閲覧できる予定です。